

財産を社会のために 役立てたい——。 思いを実現する遺贈

人生の集大成として財産を遺贈・寄付して、社会貢献したいと考える人が増えている。生前にどんな準備をしておけばいいのだろうか。相続時の留意点についても考える。

遺言書で指定すれば 寄付ができる

自分の財産を社会のために役立てたい——。そう考える人が増えている。配偶者や子どもに資産を引き継ぐことを「相続」というが、遺言で財産を贈与することを「遺贈」と呼ぶ。遺言で指定すれば相続人以外にも財産を残すことが可能だ。

日本財団の「遺贈に関する意識調査」によると、60歳以上の約5人に1人が「社会貢献のために遺贈による寄付をした」と考えている。なかでも配偶者や子どもがいらない人の関心が高く、半数近くが「遺贈をした」と答えている。相続人のいない人が亡くなると、財産は国庫に納めることになる。であれば「自分の意志で社会に役立てたい」ということだろう。

資料請求およびアンケートにお答えいただいた方の中から 抽選で10名様にQUOカードをプレゼント!

「遺贈・寄付広告特集」にてご紹介している下記6団体に資料請求ができます。

- 日本自然保護協会、交通遺児育英会、ワールド・ビジョン・ジャパン
- 日本赤十字社、日本骨髄バンク
- シャプラニール=市民による海外協力の会(順不同)

▼以下アドレスよりご請求ができます▼

<http://adnet.nikkei.co.jp/e/izou2018/>

日本赤十字社

赤十字でつなぐ、わたしの思い



東日本大震災子どもにミルクをあげる自赤助産師

日本赤十字社は、人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦しんでいる人を救いたいと思う多くの方たちに支えられ、これまで140年以上、世界の赤十字と互いに連携しながら、東日本大震災や最近では西日本豪雨災害など国内外の災害救護

などを行ってきました。災害時の医療チーム派遣のみならず、次の災害に備える防災教育など地域に根ざした活動を支援するために、都道府県ごとに遺贈の用途を指定することもできます。



〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
お問い合わせ先:03-3437-7082(遺贈寄付窓口/平日9:00~17:00)
※またはお近くの都道府県の支部まで
<http://www.jrc.or.jp/>

公益財団法人 日本骨髄バンク

あなたにも救える命がある



もしあなたやご家族が白血病になったら。ご家族の中にドナーがいなかったら。

骨髄移植は、そんな患者さんに「生きるチャンス」を与えます。この治療法には適合するドナーの存在が不可欠です。ドナー募集や安定的な骨髄バンク事業運営のために、あなたのご寄付をお待ちしています。ご協力をお願い致します。



〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目19番地
お問い合わせ先:0120-377-465(平日9:00~17:30)
https://www.jmdp.or.jp/help_us/about/

特定非営利活動法人 シャプラニール=市民による海外協力の会

「誰も取り残さない」社会へ



「自分で未来を切り開くために」読み書きを学ぶ少女たち

シャプラニールは1972年から Bangladesh とネパールで活動する国際協力NGO(非政府組織)です。貧困を理由に児童労働を余儀なくされている子どもへの支援、自然災害に対する防災・減災の支援、フェアトレードを通じた女性への社会的・経済的自立の支援に取り組んでいます。例えば、学校にも行けず他人の家で家事使用人として働く少女たちに文字の読み書きを教える支援センターの運営や、雇用主や両親など周囲の大人への啓発活動なども行っています。※(認定NPO法人)ご寄付は税の優遇対象となります。



〒169-8611 東京都新宿区西早稲田2-3-1
お問い合わせ先:03-3202-7863 (火曜~土曜、10:00~18:00)
<https://www.shaplaneer.org/>